

謹啓 新緑の候皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます

さて、私ことこの三月三十日をもって東京都総務局法務部を最後に東京都を退職いたしました。

思えば昭和四十五年四月に東京都に勤務して以来三十二年間のうち、二十年近くを法務部で訟務実務に携わってまいりました。

また、異動先での文書課、水道局、多摩本部、建設局の皆様にも公私にわたり数々のご指導ご鞭撻を賜り深く感謝申し上げます。

なお、四月一日からは、公募により熊本大学法学部教授に採用され、地方自治法と公務員法を担当しております。週三日の授業のうち月曜日の講義資料の準備のため、毎日曜日は研究室に遅くまでいます。この十月からは、大学院生（修士課程）への指導も入ってきますので、これから準備で大変です。また二〇〇四年四月からの開設を目指して法科大学院設置の準備に入っています。

ただ、毎日の生活の中で、熊本の水の美味さは実感しています。

法学部での月二回の教授会も経験し、又私の歓迎会も教授会が中心となって大勢で会を開いていただき感激しているところです。五高の歴史の重みを自覚しつつ、東京都庁で培った実務、実績を肥やしにして研鑽に努めたいと思っています。

四月十五日(月)の私の最初の授業(三年・地方自治法)での第一声は、我妻栄先生が、米沢の興穰館高校での講話の一節「化学肥料型人間ではなく堆肥型人間となれ」(化学肥料は一〜二年で効果薄れるが堆肥は土壌まで変える力を持っている)と、すなはち物事の本質をも変え得る人間となれ、の意を解説して話をしました。いずれ夏目漱石の「草枕」の峠の茶屋、武蔵が「五輪書」を書いた終焉の地、靈巖堂に赴き何かに触れたいものと思っております。最後に今後ともどうぞよろしくご指導お願い申し上げます。最後にお近くにお出かけの折には是非お立ちより下さい。

熊本大学にはバス(熊本駅から市営バス第一環状線「子飼橋」下車)
徒歩一〇分、産交バス大津方面行き「熊本大学」下車が便利です

平成十四年五月

林 勝 美

研究室

〒860 熊本市黒髪二丁目四〇番一
8555 熊本市黒髪二丁目四〇番一
電話 熊本市黒髪二丁目四〇番一
FAX 熊本市黒髪二丁目四〇番一

自宅

〒860 熊本市東町四丁目一番東町北住宅一五―三
0901 熊本市東町四丁目一番東町北住宅一五―三
電話 熊本市東町四丁目一番東町北住宅一五―三
FAX 熊本市東町四丁目一番東町北住宅一五―三